

1. 第 34 期（令和 2 年度）事業計画

(1) 本 社 事 業 部（富山市民プラザビル）

市民プラザビルの運営にあたっては、賑わいの創出を図り、中心地区活性化に寄与することを大きな目標に掲げ、時代の変化（近隣商業環境、経済状況、消費動向、情報通信技術の進展、ライフスタイルの変化等）に対応した施設運営を図ってまいりました。

令和 2 年 3 月 21 日に富山市の路面電車南北接続が実現することから、第 34 期（令和 2 年度）は、市民プラザビルの運営においても、その効果を拡大させていくことが求められています。

今期の㈱まちづくりとやまとの合併により顕在化したさまざまな課題を解決するため、組織体制の見直しを要することから、来期（令和 2 年度）は、人件費が増大し極めて厳しい財政状況になると見込んでおります。

(2) 駐 車 場 事 業 部（グランドパーキング）

来期は、従来どおり施設の維持管理に努めるとともに、自主イベントを抜本的に見直し、財政健全化を図りながら、近隣地区との連携強化に取り組んでまいります。

グランドパーキングの運営にあたっては、中心商店街の活性化に寄与できるよう「明るい・きれい・とめやすい」施設の運営管理を心がけております。

ここ数年、中心商店街の来街客数が下降傾向にあり、グランドパーキングも利用台数の減少が続いておりますが、第 34 期（令和 2 年度）は、定期駐車台数枠を増加し、売上維持に努めてまいります。また、開業から 14 年が経過し、経年劣化がみられる外壁等の修繕も計画的に実施し、施設の維持にも努めてまいります。

(3) ま ち づ くり 事 業 部（旧・株式会社まちづくりとやま）

まちづくり事業部では、平成 31 年 4 月 1 日の株式会社まちづくりとやまとの合併後、同社がこれまで取り組んできた中心市街地の活性化に関する諸事業（グランドプラザの運営、地場もん屋の運営、コミュニティバスの運行、富山市中心商店街 2 時間駐車サービス事業など）を承継しております。

第 34 期（令和 2 年度）は、社会的な人材不足を背景に民間企業等からの人的支援が大幅に減少し、さらに、富山市等からの補助金や支援金も大幅に減額となる見込みであり、極めて厳しい状況が見込まれています。

来期は、本社事業部 及び 駐車場事業部を含めた組織体制の見直しを行い、社内の支援でまちづくり事業部の収支が均衡するようしておりますが、当事業部には、自主財源がないことから、地場もん屋の売上の大幅増を図るなど 自主財源の確保に努めてまいります。また、第 35 期・令和 3 年度以降に見直すべき業務を富山市 及び 中心商店街関係諸団体等と協議し、当事業部が補助金依存体質から脱却し、独立 採算につなげるよう取り組んでまいります。

こうした現状を踏まえながら、次の事業に取り組んでまいります。

- (1) 富山市中心地区活性化に関する諸事業の実施
- (2) 富山市民プラザビルの賃貸と管理運営
- (3) 賑わいと話題性溢れるイベントの実施
- (4) グランドパーキングの管理運営
- (5) 地場もん屋の売上の大幅増

2. 第34期（令和2年度）収支計画

（単位：千円）

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 家賃収入 | 460,600 | 人件費 | 195,200 |
| 共益費収入 | 141,300 | 一般管理費 | 459,900 |
| 駐車場収入 | 237,900 | イベント事業費 | 78,300 |
| 事業収入 | 111,000 | 租税公課 | 96,300 |
| 受託料収入 | 64,100 | 解体撤去費 | 4,500 |
| 補助金収入 | 99,300 | 小計 | 834,200 |
| 雑収入 | 8,400 | 減価償却費 | 274,700 |
| 受取利息等 | 300 | 固定資産除却損 | 1,300 |
| 合計 | 1,122,900 | 合計 | 1,110,200 |
| 差引額 | | | 12,700 |